

アフリカ向け 官民連携投融资セミナー

アフリカ開発銀行(AfDB)－JICAの 協力枠組み

～Enhanced Private Sector Assistance
(EPSA) for Africaを中心に～

JICAアフリカ部
2014年6月13日

発表概要

1. TICAD Vについて
2. JICAの円借款とEPSA
3. 日本企業とNSLの連携強化のための取り組み
4. EPSAにおける円借款実績

1. TICAD Vについて

(1) TICADVについて

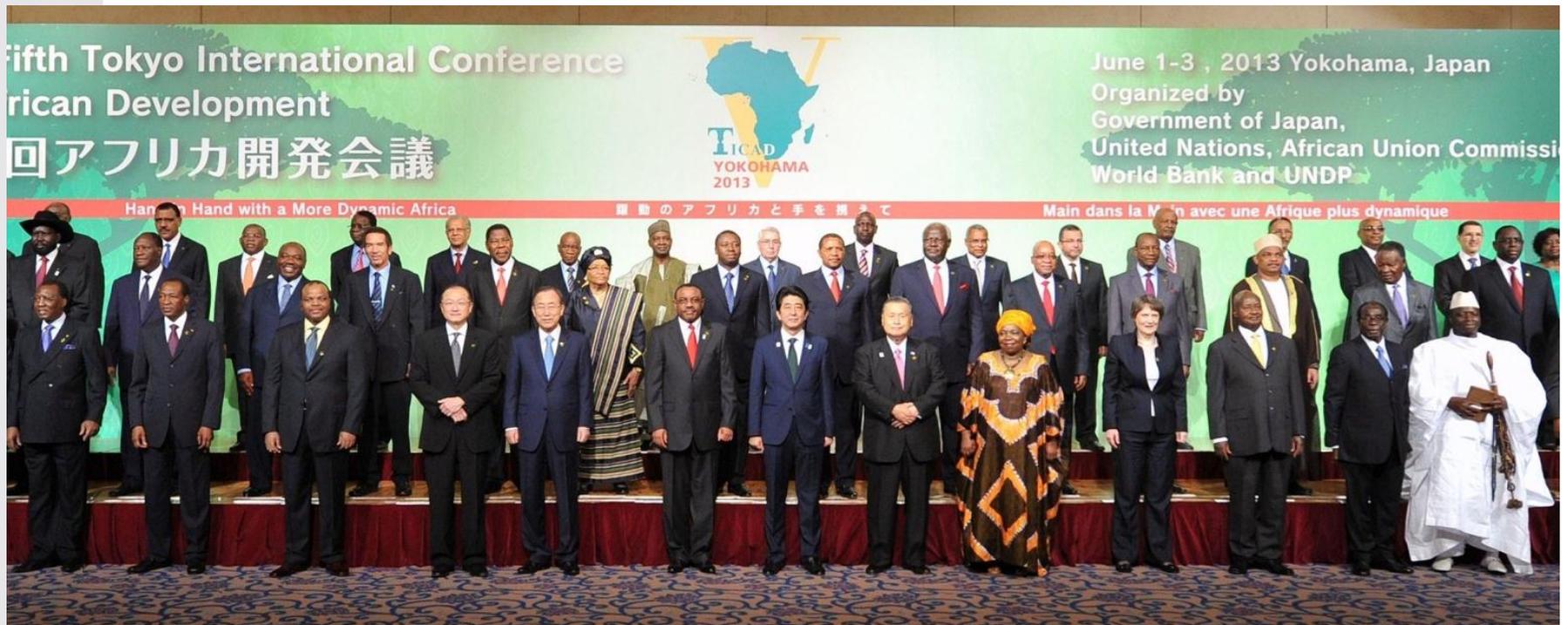
■ 2013年6月1日～3日 横浜開催

～アフリカ39首脳らが参加し、横浜宣言など採択

～民間主導の開発へ(ODAは触媒)

～アフリカ連合が**共催者**に

(①経済開発重視、②アフリカの主体性重視)



(2) TICADV「横浜宣言」・「横浜行動計画」

3本柱

柱①:「強固で持続可能な経済」

柱②:「包摂的で強靱な社会」

柱③:「平和と安定」

6つの重点分野

(1) 民間セクター主導の成長を促進

規制面を含む投資環境改善、貿易・観光・中小企業振興、域内貿易の促進

(2) インフラ整備の促進

「ハードインフラ」(民間資金の活用)、「人的インフラ」(産業人材育成)、「知識インフラ」(科学技術)整備

(3) 農業従事者を成長の主人公に

農業振興を通じた雇用増進、小農の生活向上、生産・保管・流通を一貫して整備、気候変動に強靱な農業

(4) 持続可能かつ強靱な成長を促進

防災、気候変動への適応、低炭素成長、天然資源・生物多様性管理

(5) 万人が成長の恩恵を受ける社会の構築

初等教育、万人が保健の恩恵を受ける制度作り、母子保健、水衛生

(6) 平和と安定、グッドガバナンスの定着

アフリカ自身の取組支援、テロ・海賊対策、国連安保理改革

※詳しくは⇒http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/page2_000016.html

(5) TICAD Vの主な支援策

TICADVの主な支援策



基本方針

(注) 行動計画の項目に沿って記載

- ▶ 民間の貿易投資を促進し、アフリカの成長を後押しする(インフラ、人材育成等)
 - ▶ 日本らしい支援を通じ、「人間の安全保障」を推進する(農業、保健、教育、平和と安定等)
- 今後5年間で**ODA約1.4兆円(140億ドル)**を含む**最大約3.2兆円(320億ドル)**の**官民の取組**でアフリカの成長を支援。

I. 経済成長の促進(民間セクター、貿易投資、資源)

(1) 貿易・投資

- ◆ NEXIの**最大20億ドル**の貿易・投資保険枠
- ◆ 投資アドバイザーを**10カ国**に派遣
- ◆ 投資協定の締結促進
- ◆ **20カ国**、**300人**にワンストップ国境通関(OSBP)システムを普及、貿易円滑化のための人材育成

(2) 民間セクター

- ◆ アフリカ開発銀行との協調融資(EPISA)**5億ドル**の支援を含む民間セクター支援

(3) 資源

- ◆ JOGMECによる**20億ドル**のリスクマネー供給
- ◆ 資源分野**1,000人**の人材育成

II. インフラ整備・能力強化の促進(インフラ、人材育成、科学技術、観光)

(1) インフラ整備

- ◆ **約6,500億円(65億ドル)**の公的資金を投入
- ◆ **5大成長回廊**整備支援
- ◆ 都市計画／交通網／インフラ整備のための戦略的マスタープランを**10カ所**において策定

(2) 人材育成

- ◆ 産業人材を**3万人**育成
- ◆ TICAD産業人材育成センターを**10カ所(25カ国)**を対象)設立
- ◆ 「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(安倍イニシアティブ)」

(African Business Education Initiative for Youth (ABE Initiative)) (注1)を立ち上げ、**1,000人**を日本に招聘
 (注1) 官民連携で日アフリカ・ビジネスの将来を担う若手の優秀なアフリカ人材を選抜し、日本の大学への留学と日本企業でのインターン経験の機会を供与し、又、卒業生間のネットワーク構築をはかるもの

(3) 科学技術

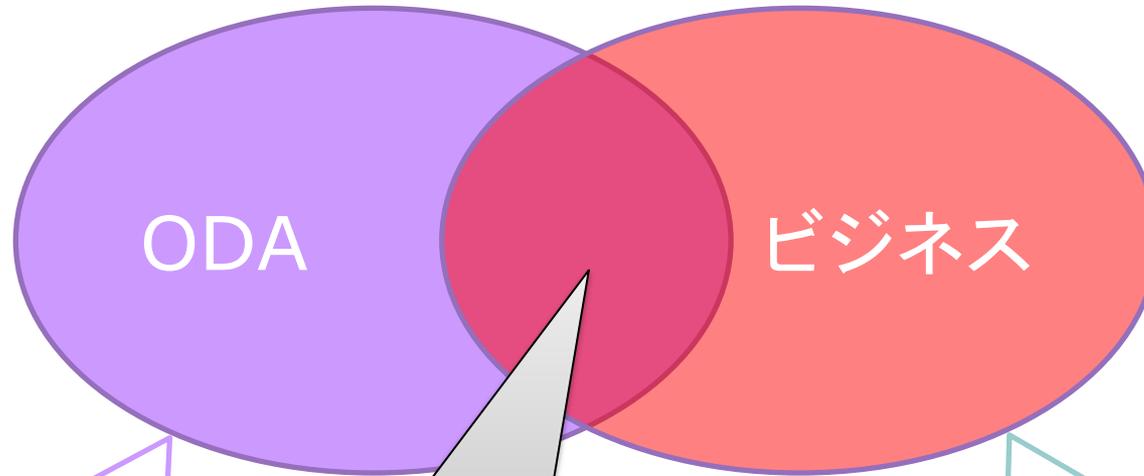
- ◆ 汎アフリカ大学、日エジプト科学大学等研究機関・大学への技術協力

(4) 観光

- ◆ 外務省やJATA等による観光フェアを**10回開催**
- ◆ 観光分野**700人**の人材育成

(3) JICAの官民連携戦略

～何故JICAが「民間連携」？



アフリカ諸国の開発
(社会経済開発)

アフリカ開発につながる
日本企業の活動を支援

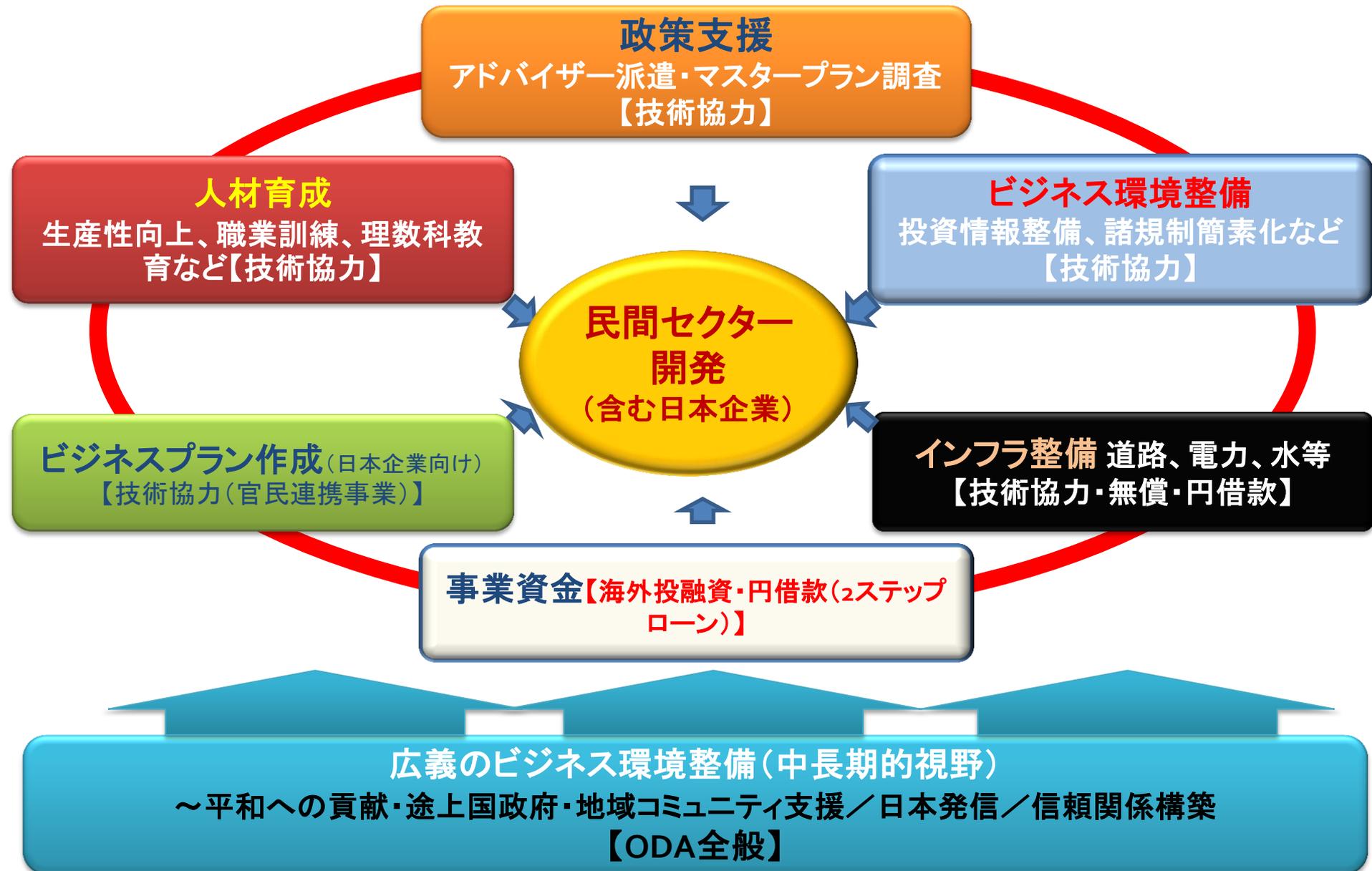
貿易・投資

- 『日本』に対する信頼
- ビジネス環境整備

- 民間連携事業(新規)

ODAで蓄積されたアセットを活用

(4) アフリカ官民連携開発戦略



2. JICAの円借款とEPISA

1. JICA円借款とEPSA

○ EPSA1:

- 2005年、日本政府はミレニアム開発目標(MDGs)の達成に向けて、JICAがAfDBグループと協調し、5年間で10億ドルを上限とする円借款の供与を含む、アフリカの民間開発の共同イニシアティブ(EPSA: Enhanced Private Sector Assistance)の実施を表明。

○ EPSA2:

- 2012年、G8キャンプ・デービッド・サミットに際して、日本政府は「5年間で、新たに10億ドルの円借款を供与することを決定」した旨発表(EPSA2)
- 2014年1月のアフリカ連合(AU)本部(エチオピア)において、安倍総理がEPSA2の倍増を発表。2012年から5年間で20億ドルの円借款を供与することとした。



EPISAの目的および主要支援分野

- 目的: アフリカの民間セクター開発を包括的に支援
- 主要支援分野
 - (A) 投資環境整備
 - (B) 金融市場の育成
 - (C) 社会・経済インフラ整備
 - (D) 零細・中小企業支援
 - (E) 貿易・海外直接投資の促進

3.EPSA概要

<JICAによる円借款>

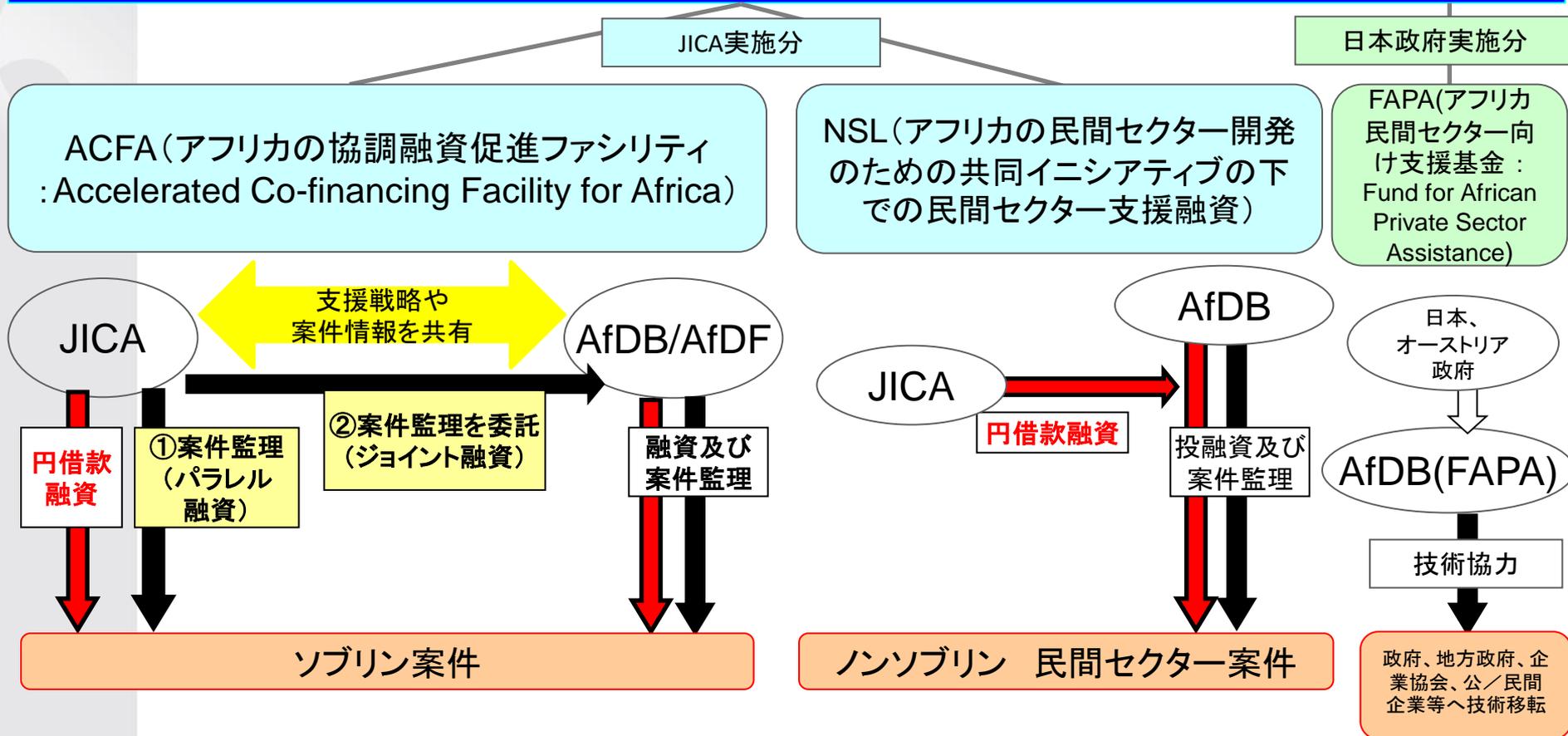
- (1) ACFA (Accelerated Co-Financing Facility for Africa:ソブリン協調融資促進計画) ソブリン(政府及び政府機関向け、あるいは政府保証付)案件に対する AfDB／アフリカ開発基金(ADF)とJICAを通じた円借款による協調融資
- (2) NSL (Private Sector Assistance Loan:民間セクター向けノンソブリン融資): AfDBの民間セクター向けノンソブリン業務に対するJICAによる円借款

<日本財務省を通じた技術移転基金>

- (3) FAPA (Fund for African Private Sector Assistance、FAPA:民間セクター支援基金)

2. アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアティブ(EPISA)概観

アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアティブ (EPISA: Enhanced Private Sector Assistance for Africa)



4. EPSAの概観:

ソブリン協調融資促進計画(ACFA)

- 対象セクター: 運輸(道路、鉄道、港湾、空港等)、電力、灌漑、及びその他EPSAの主要分野における案件(NEPAD案件を含む)
- 効率的なプロジェクト実施スキーム(以下の双方を活用):
 - ジョイント融資: JICAがAfDBへプロジェクト監理を委託(借款契約は別々)
 - パラレル融資: JICAが直接案件監理を行う
- 適格国
 - AfDB/ADFのアフリカ地域内加盟国。日本政府/JICAは、ACFAに基づくJICAを通じた円借款を供与するかどうか決定を行う前に、当該国の債務持続性及びその他の関連事項を検討する。

4. EPISAの概観

民間セクター向けノンソブリン融資(NSL)

○ 目的:

AfDB域内メンバー国に所在し且つ登記されている地域銀行・地場銀行や現地民間企業等が必要とする資金を、製造業、インフラ、金融サービス、農業など多岐にわたるセクターに対し提供する。

○ 実施方法:

AfDB民間セクター局が組成・資金供与する投融資事業の原資として円借款を供与する。

○ 適格性、利用基準及び融資条件:

AfDBのノンソブリン／民間セクター融資業務の適格性、利用基準及び融資条件が適用される。

3. 日本企業とNSLの連携強化のための取り組み

3. 日本ビジネスとNSLの連携強化するための最近の取り組み

○ 広報強化

- AfDBのウェブページにおける情報発信（和、英、仏）
- 日本、現地（南アフリカ、ケニアなど）における日本企業とのマッチングセミナー

○ 連携強化：

- Sub-regional 開発金融機関（DFIs）との連携強化（DBSA、EADB、PTA等）
- TICAD Vの公約に基づき技術協力により実施中の産業政策アドバイザー（10カ国）との連携

(1) AfDBのウェブページにおける情報発信(和、英、仏)

Welcome to the African Development Bank
ようこそアフリカ開発銀行へ

Home アフリカ開発銀行について 2012年の概要 プロジェクトとオペレーション アフリカの経済とトレンド 投資家の皆様へ アジア代表事務所

アジア代表事務所

日本とのパートナーシップ

アジア代表事務所の活動

- ・アフリカビジネスに関わる日本企業リスト (日本語・English)
- ・2013年5月 アフリカ開発銀行 長期戦略書2013~2022の発表 (日本語・English)

アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアチブ

- ・ノンソブリン事業(NSL)向けEPSAローン
- ・アフリカ向け協調融資促進ファシリティ(ACFA)
- ・アフリカ民間セクター向け支援基金(FAPA)

ノンソブリン事業(NSL)向けEPSAローン

アフリカの民間セクター開発のための共同イニシアチブ(EPISA)のノンソブリンローン(NSL)は、国際協力機構(JICA)からAfDBへの円借款を通じてAfDBの民間セクター事業を支援しています。

115億円(1億米ドル相当)の第1次ノンソブリンローンは2007年2月に締結されました。2008年5月に開催された第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)で日本は321億円(3億米ドル相当)の第2次NSLの供与を発表、2008年9月に融資契約が締結されました。日本政府は2010年12月20日に84億4000万円(1億米ドル相当)の第3次NSLの供与を発表、2011年10月に融資契約が締結されました。

プロジェクト例(アフリカ地域開発金融機関等)

対象国・地域	案件名(融資先)	AfDB 承諾年	プロジェクト概要	AfDB 支援額
ナイジェリア	Access Bank 向け融資	2006	アグリビジネス、インフラ事業、製造業等を支援するもの。	35百万USDドル
ナイジェリア	Zenith Bank 向け融資	2006	インフラ事業、製造業、石油船舶輸送、通信業等を支援するもの。	100百万USDドル
タンザニア	Access Bank 向け融資	2007	低所得者を対象としたマイクロファイナンス銀行の設立に対して支援するもの。	0.6百万ユーロ

AFRICAN DEVELOPMENT BANK GROUP
Building today, a better Africa tomorrow

Countries Topics & Sectors Projects & Operations News & Events Documents Knowledge

Home Topics & Sectors Initiatives & Partnerships Enhanced Private Sector Assistance for Africa: EPSA Initiative

Topics

Initiatives & Partnerships

- ▶ Enhanced Private Sector Assistance for Africa: EPSA Initiative

Sectors

Explore Our Activities

Enhanced Private Sector Assistance for Africa: EPSA Initiative

Introduction

The Enhanced Private Sector Assistance (EPSA) Initiative is an innovative, multi-component, multi-donor framework for resource mobilization and development partnership to support implementation of the AfDB's Strategy for Private Sector Development. Drawing on successful development experience in Asia and around the globe, EPSA was conceived in partnership with the Government of Japan (GOJ), which provided generous financial support to its launch in 2005.

According to the original EPSA announcement and pledge by the Japanese Government at the Gleneagles Summit, the Japan International Cooperation Agency (JICA, formerly JBIC) will provide a total of USD 1 billion over five years in concessional loans through a combination of direct lending to the Bank under the EPSA Non-sovereign Loan component and cofinancing under the Accelerated Cofinancing Facility for Africa (ACFA). In addition, the GOJ would contribute grant resources to the Fund for African Private Sector Assistance (FAPA), beginning with an initial contribution of USD 20 million. These three EPSA components and their present status of implementation are summarized below.

The EPSA Loan for Non-Sovereign Operations (NSL)

The Non-Sovereign Loan component helps finance the Bank's private sector operations through a line of credit from JICA to the Bank on concessional terms. The first loan was signed on 20 February 2007 in the amount of JPY 11.5 billion (equivalent to USD 100 million). Disbursement of the first loan was completed during 2008 and the loan was closed in September.

At the Tokyo International Conference on African Development (TICAD) in May 2008, Japan pledged the "Second Private Sector Assistance Loan Under the Joint Initiative Titled EPSA for Africa" in an amount of JPY 32.1 billion (equivalent to USD 300 million), again on highly concessional terms. The bilateral Exchange of Notes and Loan Agreement were signed at the Bank on 11 September 2008, and a first disbursement of JPY 30 billion was drawn immediately

(2) 日本企業向けセミナー開催(案)

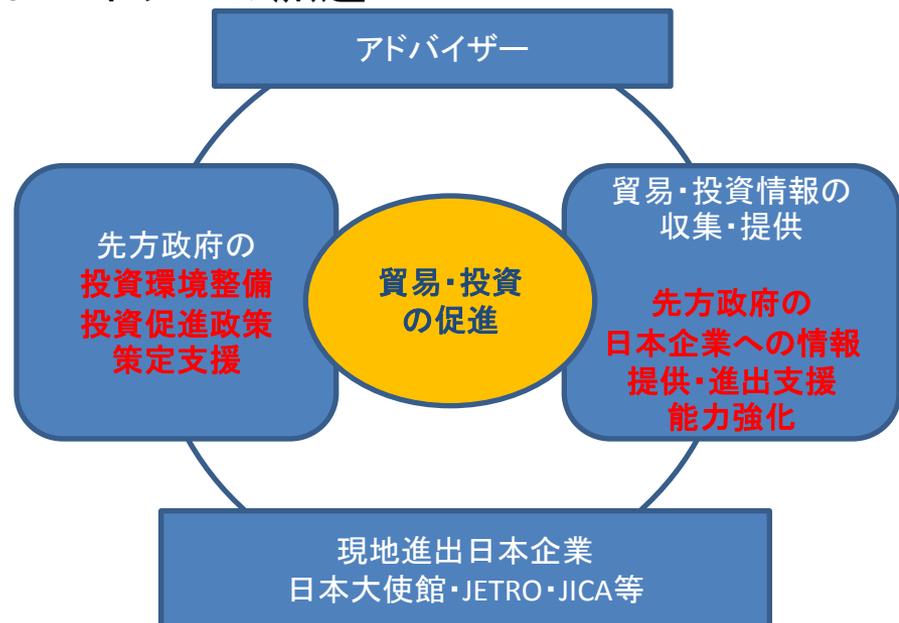
- 目的:
 - 現地に進出している日本企業に対し、日本政府関連機関(JICA, JETRO等)や国際機関(AfDB、IFC, MIGA等)の民間企業支援の取り組みや、NSL転貸先地場銀行の活動を紹介し、ファイナンス機会を提供する。
- 開催場所: 日本、南アフリカ、ケニア、その他
- 実施時期: 2014年9月以降
- 実施機関: JICA、JETRO、AfDB、他
- 課題: 現地進出している日本企業のニーズに基づいた、実用的な情報や金融機関・実施機関を提供すること。

(3) Sub-regional 開発金融機関 (DFIs) との連携強化

- 目的:
 - TICAD V公約である地域統合、官民連携を強化するため
- アフリカの開発金融機関 概観(※):
 - Regional: 1機関 (AfDB)
 - Sub-regional: 13機関
 - 南部アフリカ開発銀行 (DBSA)、東アフリカ開発銀行 (EADB)、東・南部アフリカ貿易開発銀行 (PTA) 等
 - National: 54機関
- 連携強化(案):
 - 業務協力協定 (MOU) を締結: プロジェクト情報交換、セミナー開催、「ジャパングデスク」設置を提案など

(4) 産業政策アドバイザーとの連携

◆ 貿易・投資・産業開発官庁中枢部へのアドバイザーの派遣



◆ 投資環境の改善、投資促進施策の策定実施等にかかる先方政府の能力強化を行いつつ、日本企業の現地進出に対する側面支援を実施

【2014年度における新規・継続派遣予定】

1. ケニア(新規)
配属先: 産業化省
案件名: 産業開発アドバイザー
派遣予定: 2014年度中
2. タンザニア(後任派遣)
配属先: 産業貿易省
案件名: 産業開発アドバイザー
派遣予定: 2015年1月上旬頃
3. ガーナ(新規)
配属先: ガーナ投資促進センター
案件名: 投資政策アドバイザー
派遣予定: 2014年度第4四半期
4. セネガル(新規)
配属先: 輸出振興庁
派遣予定: 2014年第4四半期

派遣対象国－赤字が派遣済み、青字が採択済み

タンザニア、モザンビーク、スーダン、モロッコ、コートジボワール、ケニア、ガーナ、セネガル

4. EPSAにおける円借款実績

(1) EPISA 1 (2006年～2011年)

実績： 約11.4億ドル

(1) ACFA協調融資：運輸（道路、橋梁）、
電力 計11案件、約511億円（約6.4
億ドル）

(2) NSL円借款：（第Ⅰ期～第Ⅲ期）、約
521億円（約5億ドル）、採択した対象
サブプロジェクト計32事業

(1) EPSA1 ACFA 実績

国	案件名	L/A調印日	借 款 額 (百万円)	借 款 額 (百万米ドル)
セネガル	バマコ-ダカール間南回廊道路改良・交通促進事業	2006/3/31	960	8.63
タンザニア	アルーシャ-ナマンガ-アティ川間道路改良事業	2007/3/9	6,857	58.45
モザンビーク	モンテプエス-リシंगा間道路事業	2007/3/19	3,282	29.24
ウガンダ	ブジャガリ送電網整備事業	2007/10/30	3,484	28.63
カーボヴェルデ	サンティアゴ島発電・送配電能力強化事業	2008/3/25	4,468	37.98
カメルーン	バメンダ-マムフェ-エコック間及びマフム-アバカリキ-エヌグ間道路交通促進事業	2009/3/31	4,540	45.35
モザンビーク	ナンプラ-クアンバ間道路改善事業	2010/3/10	5,978	61.28
ウガンダ	ナイル赤道直下湖周辺国送電線連結事業	2010/3/26	5,406	50.81
タンザニア	道路セクター支援事業	2010/5/31	7,119	74.68
タンザニア	イリンガ-シニャンガ基幹送電線強化事業	2010/12/13	6,048	65.13
カメルーン	送配電網強化・拡充事業	2011/3/4	2,939	33.88
合計			51,081	494

(1) EPISA1 民間セクター向けノンソブリン融資(NSL)

貸付先	案件名	L/A調印日 (yy/mm/dd)	借款額 (百万円)
アフリカ開発銀行	民間セクター支援融資(Ⅰ)	2007/2/20	11,550
アフリカ開発銀行	民間セクター支援融資(Ⅱ)	2008/9/11	32,100
アフリカ開発銀行	民間セクター支援融資(Ⅲ)	2011/10/17	8,440
合計			52,040

(2) EPISA2 (2012年～2017年)

実績: コミット額20億ドルのうち、7.98億ドル達成(承諾ベース、約40%)

(1) ACFA協調融資: 運輸(橋梁)、電力の計5案件、約322億円(約3.98億ドル)

(2) NSL円借款: 計2案件(第Ⅳ期、第Ⅴ期)、約402億円(約4億ドル)

(2)EPSA2 ACFA、NSL 実績

国	案件名	L/A調印日	借 款 額 (百万円)	借 款 額 (百万米ドル)
カーボヴェルデ	送配電システム整備事業	2012/3/30	6,186	78.11
ボツワナ/ザンビア	カズングラ橋建設事業	2012/10/12	8,735 / 2,877	149.2
タンザニア	第二次道路セクター支援事業	2013/04/08	7,659	96.2
モザンビーク	マンディンバーリシंगा間道路改善事業(Parallel)	2013/11/29	6,773	74.36
合計			32,230	398

貸付先	案件名	L/A調印日 (yy/mm/dd)	借 款 額 (百万円)
アフリカ開発銀行	民間セクター支援融資(Ⅳ)	2013/12/15	9,480
アフリカ開発銀行	民間セクター支援融資(Ⅴ)	2014年(調整 中)	30,690
合計			40,170

(ご参考) EPSA ホームページ

1. EPSAホームページ (ACFA, NSL, FAPA)

日本語：<http://www.afdb-org.jp/japan/japan.html>

英語：<http://www.afdb.org/en/topics-and-sectors/initiatives-partnerships/enhanced-private-sector-assistance-for-africa-epsa-initiative/fund-for-african-private-sector-assistance/>

2. AfDB民間セクター事業 ブローシュア (AfDB民間セクター戦略の説明、AfDB事業への申請方法等を説明)

<http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Publications/OPSM%20Brochure%20English.pdf>

(ご参考)連絡先

JICA

アフリカ部計画・TICAD推進課 EPSA担当 若松英治

Tel 03-5226-8258 Wakamatsu.Eiji@jica.go.jp

AfDB (JICA連携協力調査員 (JICA職員による出向))

山本篤 Atsushi YAMAMOTO (Mr.),

EPSA Focal Point, Private Sector Department

Tel +216-71-10 27 43 epsa@afdb.org

(6月中旬以降、コートジボワール本部へ移転予定で電話番号も変更予定)

有難うございました。